

北本市駐車場整備事業経営戦略

団 体 名 : 北本市

事 業 名 : 駐車場事業

策 定 日 : 令和 2 年 11 月

計 画 期 間 : 令和 2 年度 ~ 令和 11 年度

※複数の駐車場を有する事業にあつては、駐車場ごとの状況が分かるよう記載すること。

1. 事業概要

(1) 事業形態

法適(全部適用・一部適用) 非 適 の 区 分	非適用	事 業 開 始 年 月 日	平成24年4月2日
職 員 数	1人(兼務)	施 設 名	北本市駅西口駐車場 北本市駅東口駐車場
種 類	その他	構 造	広場式
立 地	駅	建設後(建替後)の経過年 数	北本市駅西口駐車場 8年 北本市駅東口駐車場 3年
駐 車 場 使 用 面 積	北本市駅西口駐車場 300㎡ 北本市駅東口駐車場 143㎡	収 容 台 数	北本市駅西口駐車場 10台 北本市駅東口駐車場 5台
営 業 時 間	24時間営業		
民 間 活 用 の 状 況	ア 民間委託	・北本市駅西口駐車場 施設管理業務及び保守業務を民間委託 ・北本市駅東口駐車場 施設管理業務及び保守業務を民間委託	
	イ 指定管理者制度		
	ウ PPP・PFI		

(2) 料金形態

※近隣駐車場に比較して減免を行っている場合は、その点についても記載すること。

車種	営業時間	24時間営業
普通自動車、小型自動車、軽自動車		<ul style="list-style-type: none"> 北本市駅西口駐車場 30分ごとに100円 ただし、駐車始期より30分までは無料 北本市駅東口駐車場 30分ごとに100円 ただし、駐車始期より30分までは無料
料金形態の考え方	近隣民間駐車場の料金設定、社会情勢等から総合的な判断により、料金形態を決定する。	
料金改定年月日 (消費税のみの改定は含まない)	—	

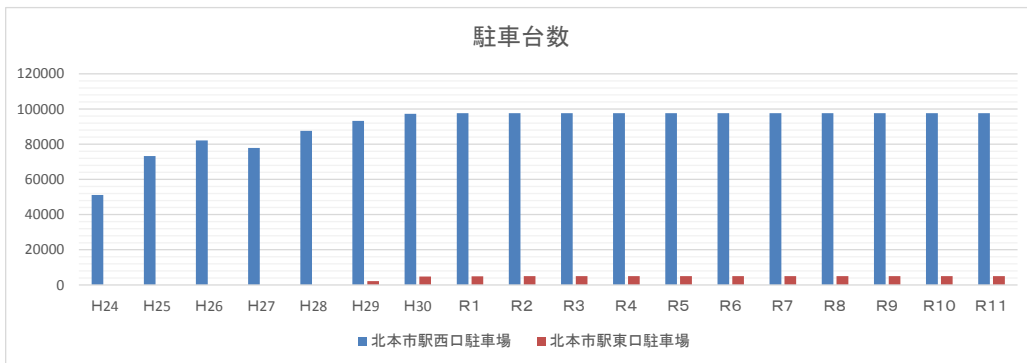
(3) 現在の経営状況

本市の駐車場事業は、平成30年度の経営比較分析表において、収益的収支比率が北本市駅東口駐車場は206.8%、北本市駅西口駐車場は352.8%ともに100%を超えており、健全性は確保されていると考えられる。今後も健全経営を続けていくためには、更なる費用削減や経営改善に向けた取り組みが必要であると考えられる。
売上高GOP比率については、北本市駅東口駐車場は52.2%、北本市駅西口駐車場は71.7%と当施設は類似施設平均を超え、施設の営業に関する収益率は高いと判断される。

2. 将来の事業環境

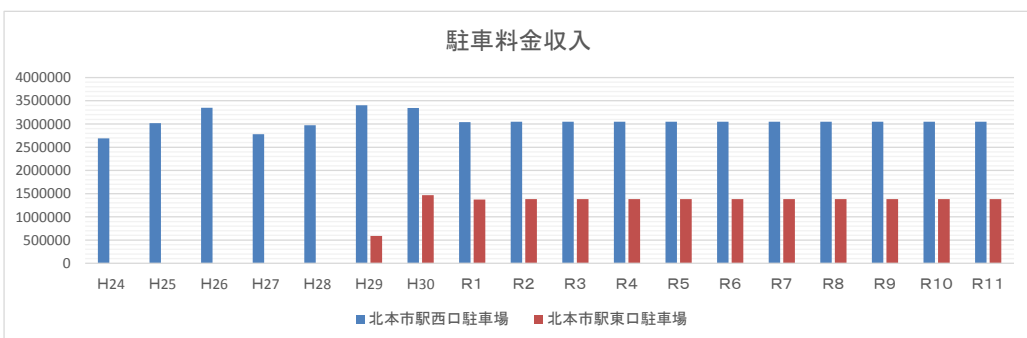
(1) 駐車場需要の見通し

本市の施設は、駅周辺の店舗利用及び駅利用者、通勤通学の送迎時の駐車場として設置されたものであり、駐車開始から30分無料としているため短時間(30分以内)での駐車場利用が多いことから、稼働率が高く、施設の利用状況は良好であると判断している。
今後も、施設の需要は高いものと予測している。



(2) 料金収入の見通し

駐車場料金収入については、平成29年から減少傾向にあるが、「(1)駐車場需要の見通し」のとおり、駐車場需要が一定数あると想定し、現行の料金形態を維持した場合で推計した。



(3) 施設の見通し

平成24年度に北本市駅西口駐車場を新設及び平成29年度に北本市駅東口駐車場を新設したため、当面の間は、大規模な修繕は不要と見込んでいる。
主要部位・設備等の定期的な修繕・更新等に力点を置いて対応し、施設の長寿命化・延命化を図る。

(4) 組織の見通し

駐車場事業は、民間委託しており、現在は兼務職員1名体制である。今後も同様の体制で運営する予定。

3. 経営の基本方針

・道路交通の円滑化
駐車場施設を整備することで、路上駐車を削減し、道路交通の円滑化を図る。
・商業支援
駅周辺への買い物客や事業者の駐車場として、市内の商業を支援する。
・経営基盤の強化
安定経営を図るため、委託事業者と連携して、営業活動を強化する。
・満足度の高いサービスの提供
利用者のニーズを的確に把握し、顧客満足度向上に努める。

4. 投資・財政計画(収支計画)

- (1) 投資・財政計画(収支計画)：別紙のとおり
- (2) 投資・財政計画(収支計画)の策定に当たっての説明

① 収支計画のうち投資についての説明

目 標	収支計画期間内に大規模な修繕を実施しないように、定期的に施設の修繕を実施し長寿命化・延命化を図る
-----	--------------------------------------------------

・平成24年度に北本市駅西口駐車場を新設及び平成29年度に北本市駅東口駐車場を新設したため、当面の間は大型投資は不要と見込んでいる。
・施設全体で、一定の修繕費を計上することで、日常的な修繕の対応を行う。
・施設の延命化を図るとともに、円滑な運営が行えるよう、今後の修繕箇所や設備投資等について、検討を行う。

② 収支計画のうち財源についての説明

目 標	営業収益(駐車場料金収入):令和2年度4,800千円 → 令和11年度4,800千円 駐車場料金収入の維持を目標とする。
・駅前駐車場使用料が主な収入となる。	

③ 収支計画のうち投資以外の経費についての説明

・経費の節減、サービス向上に努め、経営の安定化を図る。
・営業費用について、主なものとしては委託事業者への委託料を見込んで。委託料以外の経費については、過去の運営実績等から勘案し計画期間中に引き続き必要となるものを見込んでいる。
・支払利息について計画期間内に、新たな地方債の起債を行わない予定であることから、既存の地方債に係る支払利息分についてのみ計上している。

(3) 投資・財政計画(収支計画)に未反映の取組や今後検討予定の取組の概要

※投資・財政計画(収支計画)に反映することができなかった検討中の取組や今後検討予定の取組について、その内容等を記載すること。

また、(1)において、純損益(法適用)又は実質収支(法非適用)が計画期間の最終年度で黒字とならず、赤字が発生している場合には、赤字の解消に向けた取組の方向性、検討体制・スケジュールや必要に応じて経費回収率等の指標に係る目標値を記載すること。

① 今後の投資についての考え方・検討状況

民間活用	委託事業者と連携を図り、民間企業のノウハウを活用する。
駐車場の配置の適正化	施設の利用状況などから、総合的に判断を行う。
投資の平準化	修繕箇所や設備投資をすべき箇所を精査することで、計画的な投資を行う。
その他の取組	事故のないようサービス向上に努める。 修繕箇所を精査し、優先すべき箇所から修繕を行う。

② 今後の財源についての考え方・検討状況

料 金	定期的に近隣民間駐車場の料金設定を確認するとともに社会経済情勢を勘案しながら、適正な料金設定を行う。
利用者増加に向けた取組	利用状況や周辺環境の変化に対応して適切な管理を行う。
企業債	経営戦略策定期間内において企業債の発行は考えていない。
繰入金	現在、繰入金なし。
資産の有効活用等による収入増加の取組	駅前の中心市街地に立地し、通学・通勤・近隣の商業施設等の需要があり、収益が見込める場所であるため、効率的な運営に努め、財源の確保に努める。
その他の取組	—

③ 投資以外の経費についての考え方・検討状況

委託料	民間委託をしており、施設管理業務及び保守業務を委託する
管理運営費	委託内容を精査し、適切な管理運営費を計上する。
職員給与費	職員1人(兼務)で行う
その他の取組	—

5. 公営企業として実施する必要性など

事業の意義、提供するサービス自体の必要性	各駐車場ともに駅前の中心市街地に立地し、JR北本駅の送迎客や近隣商業施設等の駐車場として機能し、道路交通円滑化を図るための機能を有している。
公営企業として実施する必要性	駐車場事業を継続的に運営することで、道路交通の円滑化を図るとともに、駅前の中心市街地への来訪者の利便性を向上させ、中心市街地の活性化を図る必要がある。

6. 経営戦略の事後検証、改定等に関する事項

経営戦略の事後検証、改定等に関する事項	経営比較分析表を活用しながら進捗管理を行い、大規模改修時等のタイミングで経営戦略の見直しを行う。
---------------------	--------------------------------------------------